

平成27年度県立学校長研究協議会 教育長あいさつ

〔平成27年10月16日(金)〕

皆様方には、平素から、愛媛の未来を担う人材育成に御尽力いただいております、厚くお礼を申し上げます。

昨年11月に当時の下村文部科学大臣は、教育課程の基準等の在り方について、中教審へ諮問し、これまでの学習指導要領の見直しだけでなく、「アクティブ・ラーニング」といった「学習・指導方法」の充実についても、一体的に進めるための検討を求めています。高校教育については、選挙権年齢が18歳以上へ引き下げとなったことなどを踏まえ、主体的に社会に参画し自立して社会生活を営むために必要な力を実践的に身に付けさせることや、より高度な思考力・判断力・表現力の育成などが検討項目として盛り込まれており、8月には、「歴史総合」「公共」といった科目を必修科目とするなど、改訂の骨格案が示されたところです。

本日は、そのような中で、県立学校長の皆様に、様々な方面から研究協議を行っていただく予定でありまして、午前・午後と長時間にわたりますが、御協力のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

なお、折角の機会でございますので、少しお時間を頂いて、主に県立学校に係る問題とはなりますが、本県教育の課題等について、何点かお話を申し上げ、御理解・御協力を賜りたいと存じます。

まず、(特別支援学校に関することについて)

特別支援学校においては、4月10日に新居浜特別支援学校川西分校と宇和特別支援学校肢体不自由部門を開設し、東予・南予における肢体不自由のある子どもたちが、住み慣れた地域で専門的な教育を受けられるよう教育環境の整備を図ったところであり、今後とも、両校を円滑に運営することができるよう支援してまいりたいと考えております。

次に、(県立学校の耐震化の推進について)

県立学校の耐震化については、従来の目標を前倒しし、「平成27年度末の耐震化率90%、平成29年度終了」を目標とし、その実現に向けて積極的に取り組んでいるところであります。特に、特別支援学校については、今年度末までに完了することとして、計画的に進めております。

学校現場では、耐震化工事に伴い、何かと不自由をおかけしているものと思いますが、授業や学校行事、部活動等に支障を来すことのないよう、格別の配慮をお願いします。

次に、(県立高等学校及び特別支援学校の入学定員等について)

平成28年度の県立高等学校については、先日の報道にもありましたように、西条高校においては、「理数科」を「国際文理科」に改め、理系希望だけでなく文系希望の生徒にも探究的な学習活動を積極的に推進し、未来を支えるグローバル人材の育成を図ることとしています。また、今治工業高校においては、「機械科」を「機械造船科」に改め、同科に「造船コース」を設置することとし、平成29年度から校内で造船に関する専門的な実習が行えるよう、新実習棟の建設にも着手することとしています。なお、県立高等学校における定員や特別支援学校については、変更ございません。

最後に、今年度から、全ての県立学校でヘルメットの着用を自転車通学許可の条件にすることとなり、各学校では、生徒のヘルメット着用の機運を高めるために、啓発ポスターを掲示するなど、完全着用に向け様々な取組をしていただいたことに対し、心から感謝申し上げます。

各校におかれましては、日頃から交通安全についての指導に取り組まれていると思いますが、ヘルメットの着用を機に、今後、更に、規範意識や、他を思いやり、命を尊ぶ心を育む指導を推進していただきますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、皆様方におかれましては、健康には十分御留意をいただきまして、引き続き、それぞれの学校の伝統や特色を生かし、地域から愛され信頼される学校づくりに、御尽力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。